

「岐阜協立大学 2024 年度学生ゼミナール大会」  
地域スポーツ・レクリエーション事業に学生スタッフとして参画して感じた課題  
古田ゼミⅡA

伊藤賢汰, 伊藤遼人, 梅原稜平, 太田雅貴, 小野純正, 笠塚遥仁, 加納晴生, 河合高宏,  
木村海翔, 近藤薫, 阪上大樹, 清水寛太, 清水勇翔, 鈴木花音, 鈴木美羽, 駿藤隼哉, 長島丞

**研究目的:** 学生が地域スポーツ・レクリエーション事業に参画し、プログラムの企画・運営を通して、地域スポーツ・レクリエーション事業の課題を明らかにし、解決策を探る。

参画した事業: OGAKI スポーツフェスティバル・ぎふ清流レクリエーションフェスティバル・ファミレクひろば「あそびの日」・健康スポレクひろば

事業名: **OGAKI スポーツフェスティバル**

主催: 大垣市・大垣市教育委員会

主管: 公益財団法人大垣市体育連盟

開催日時: 2024 年 6 月 9 日(日)9:00~17:00

会場: 大垣市総合体育館

参加者数: 約 160 名

学生は、NPO 法人大垣レクリエーション協会と岐阜県障害者スポーツ協会のスタッフと連携してニュースポーツのマグダーツ(ねんりんピック大垣市開催種目)フライングディスク、ボッチャの体験支援をした。



事業名: **ぎふ清流レクリエーションフェスティバル**

主催: 岐阜県、岐阜県レクリエーション協会

主管: NPO 法人大垣市レクリエーション協会

開催日時: 2024 年 11 月 3 日(土)10:00~15:00

会場: 大垣市北公園野球場

ティーボールやグラウンドゴルフといったニュースポーツの体験支援をした。



事業名: **ファミレクひろば「あそびの日」**

開催日時: 2024 年 10 月 9 日(月・祝)9:00~12:00

主催: 大垣市教育委員会

会場: 大垣市青年の家

対象: 小学生と保護者

参加者数: 約 40 名

「こどもの遊び学」では学生が講師を務め、ダイナミックな運動遊びプログラムを立案して指導・運営を担当した。お宮さんゲームやからだじゃんけん、言うこと一緒にやること一緒になど昔遊びを活用し展開した。



事業名: **健康スポレクひろば**

開催日時: 2024 年 10 月 23 日・11 月 13・27 日(水)

会場: 大垣市青年の家

対象: 60 歳代から 80 歳のシニア者

参加者: 約 10 名

健康寿命の延伸を目的としたプログラムを学生が企画して指導し、協会スタッフと連携を図り運営した。本年度はボッチャを中心に実施した



**地域スポーツ・レクリエーション事業に参画して感じたこの地域の課題**

1. 参加者の偏り: OGAKI スポーツフェスティバルとぎふ清流フェスティバルの参加者の多くが子どもとその保護者
2. 運営組織の固定化: 運営を行っているメンバーが同じで、若い人がいない
3. アイデアの固定化: 事業の内容が毎回似たようなものになっている

**地域スポーツ・レクリエーション事業の課題の解決策**

1. 環境づくり: 学生がスタッフとして参画しやすい環境づくり(外部団体との連携)
2. 学生への利点づくり: 参画のインターンシップ化や単位認定
3. 指導者資格制度の復活(地域スポーツマネージャー)
4. 大垣女子短期大学学生との連携(相互の得意分野を活かすプログラムの企画)短大: 子ども、協立: スポーツ

**学生が地域スポーツ・レクリエーション事業に参画する価値(意義・意味)**

我々が地域スポーツ・レクリエーション事業に参画して見出された「価値」とは

1. 地域スポーツ・レクリエーション事業の現状と課題を認識することができる
2. 「実技」の指導と同時に「経営」的な学び: 「運営」、「資金」、「参加者増」の課題に気づく
3. 学生、外部団体とのつながり知識やノウハウの共有
4. プログラム立案と運営を行うことができるため、実践的な学習機会となる

